

授業科目名 (英文名)	中国語 2 (Chinese 2)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	鄧 秀	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	本講義では、中国語 を終えた学生を対象とするクラスである。中国語 で学んだことをベースにして、より高度の中国語能力の育成を目指し、基本的な中国語応用能力を身につけることを目標としている。		
講義内容・授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「又」～「又」の使い方 「いかがですか、どうですか」の表現 2. 「いずれも、全部、みんな」の表現 「～すべき」の表現 3. 極点に達したことの表現 前置詞の使い方(1) 4. 月・日の言い方 名詞述語文 前置詞の使い方(2) 5. 助動詞「得」の使い方 過去の経験の言い方 6. 助動詞“可以”、“能”、“会” “太～了”の使い方 7. 「～のようだ」の言い方 「どうしましたか」の言い方 8. 中間まとめと復習 9. 「～と一緒に」の言い方 助動詞「会」+動詞 10. 二重目的語 助数詞 11. 助動詞「可以」 「只有」の使い方 大きい数の言い方 12. 先週、今週、来週の言い方 「どうぞ」の表現 13. 自然現象の言い方 “好像”の表現 14. 助動詞「要」の使い方 文末の「的」の使い方 15. まとめと評価(到達度の確認) 定期試験		
テキスト	(前期の「中国語 」と同じ教科書使用)		
参考文献			
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 中国語の基礎知識を理解し、初級的な中国語ができる者に単位を授与する。 講義の目的・到達目標に記載する基礎能力(聞く、話す、読む、書く等)の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価方法 平常点40%、期末テスト60%。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があります。自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p> <p>授業の進め方としては、新出単語意味の確認、文法事項の説明、本文の日本語訳及び発音練習、表現練習、聞き取り練習、グループ会話練習、中国文化に関する紹介などを行う。</p>		
実践的教育	該当しない		
備考	毎回授業に出席すること。		